

プロバイオティクスは実はこんなに研究されています

バチルス（善玉菌）の抗インフルエンザ効果が発見されました



参考文献:
バチルス(善玉菌)プロバイオティクス菌株の抗インフルエンザ効果(2017)
Darya Starosila, Svetlana Rybalko, Ludmila Varbanetz, Naila Ivanskaya, Iryna Sorokulova

バチルス(善玉菌)は6つのポリペプチド(アミノ酸よりも大きくタンパク質よりも大きい物質)を生成し、それぞれインフルエンザやHIVウイルスなどに対する抗体や効力のある抗体、免疫グロブリンなどを生成します。
その中でも『TVAAPSVFIFPPSDEQLK』と言われるペプチド配列をポリペプチド18と命名し、このポリペプチド18はインフルエンザ薬であるタミフルよりも効果があるということが記載され、その物質は毒性を示しませんでした。

この事実に基づいて

薬剤では出来ないところをバイオのチカラ※で リスクヘッジをすることが出来ます

※自然界には、自然治癒力があります。それを担っているのが、汚れの浄化機能を持つ微生物“プロバイオティクス(善玉菌)”です。



空間



枕・寝具



ソファ



カーテン



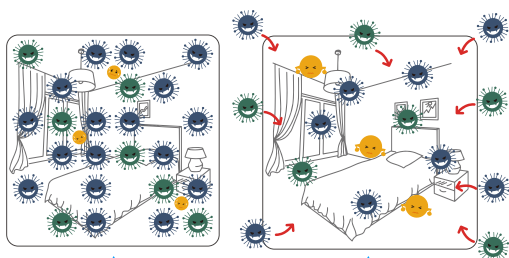
エアコン吹き出し口

さらに、空間フローラ※を整えて病気になりにくい 環境づくりをサポートします

※『口内フローラ』や『腸内フローラ』と同じ考えで空間にもフローラがあります。

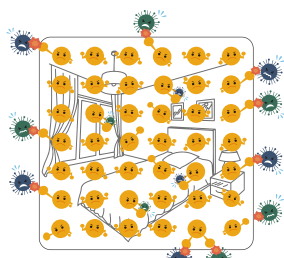
バランスの乱れた空間フローラ

善玉菌優位の空間フローラ



善玉菌の動きが抑制される環境

悪玉菌が勢力を伸ばしやすい環境



善玉菌が動きを抑制し寄り付かない環境
健康的快適な空間

善玉菌と悪玉菌のバランスが整った、善玉菌優位の環境『フローラ』では、バイ菌(悪玉菌)の活動が制限され病気になりにくい良い衛生状態だといわれています。また、薬剤で作り出すバランスの崩れた環境とは違い持続性が強いといわれています。また、この環境は(善玉菌優位の住環境)人が悪玉菌に対抗しようとする無駄なエネルギーを消費する必要がないので、免疫力をUPさせると環境とも言えます。つまり、善玉菌優位の住環境こそ病気になりにくい環境です。

効果持続型 消臭洗浄剤

グランバイオ“プロ”



【製品仕様】
●容量：5L ●バイオの種類：5種類
●バイオの数：5,000万個/cc
●pH9.0

原因物質分解型 消臭剤

グランバイオ“エア”



【製品仕様】
●容量：5L ●バイオの種類：6種類
●バイオの数：12,000万個/cc
●pH9.0

分解型 油脂浄化剤

グランバイオ“グリーン”



【製品仕様】
●容量：5L ●バイオの種類：8種類
●バイオの数：15,000万個/cc
●pH6.0-9.0

効果持続型 消臭洗剤

グランバイオ“マミー”



【製品仕様】
●容量：5L ●バイオの種類：5種類
●バイオの数：5,000万個/cc
●pH6.5-8.5

環境自浄型 空気清浄機

エアプラス



【製品仕様】
●寸法：140×65×40mm
●重量：170g
●充電方式：マイクロUSB方式
●薬液充填量：100ml (リフィルタイプ)
●運転方式：連続運転、間欠運転
●対応空間：10-15畳

プロバイオティクスが活躍する場所

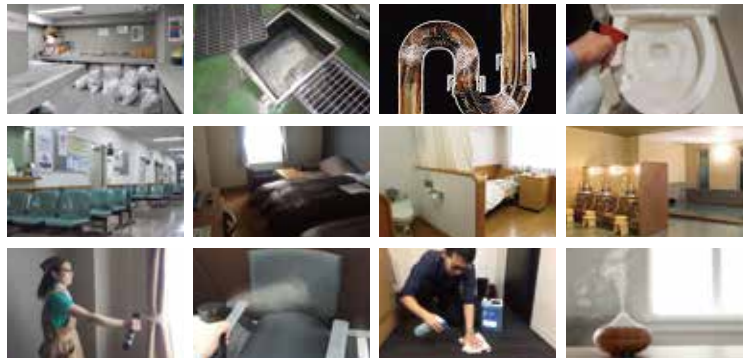
人の手の届かない場所にも作用し効果を出すことができます。

場所・箇所

- 排水溝 ●排水管 ●浄化槽 ●仮設トイレ
- 床 ●ジュースタン ●トイレ ●生ごみ置き場
- グリストラップ ●レンジ周り ●大浴場 ●脱衣場

施設

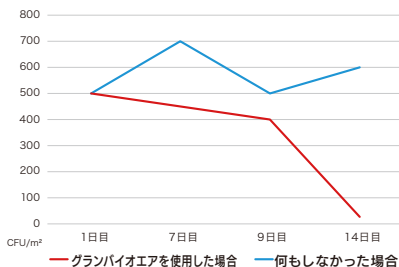
- ホテル・旅館 ●商業施設 ●ショッピングモール
- オフィスビル ●鉄道・船舶 ●飲食店
- 介護施設 ●高齢者世帯 ●賃貸物件
- ペットを飼っている家庭 ●在宅介護
- スポーツジム ●温浴施設



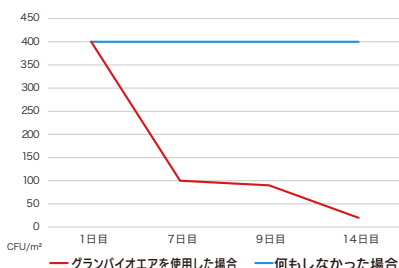
プロバイオティクスの効果

「病原菌」に対する効果

■大腸菌のトータル数

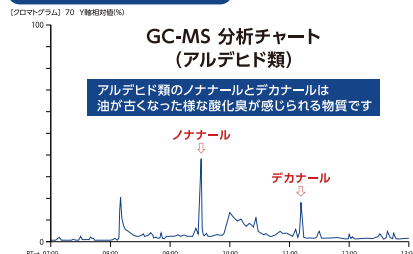


■黄色ブドウ球菌のトータル数



臭気に対する効果(ホテルのエレベーターホール)

グランバイオエア噴霧前

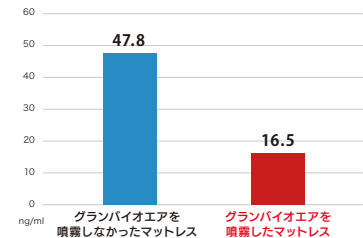


グランバイオエアを1ヶ月間噴霧



ダニアレルゲン(Der p1, Der f1)に対する効果

■アレルゲンDer p1の量



■アレルゲンDer f1の量

